

熊本 S. J. C. D. 例会抄録

演題 「歯列育成について」

演者名 鮫田誠也

日付 2009年 9月 29日 (火)

Keywords 1) 歯列育成
2) 不正咬合

抄録 最近では、顎の発育が悪く、形が小さくなってきている小児を見かけることが多く、その為、狭窄歯列弓、叢生になることは必至であります。しかしながら、「永久歯完成時まで経過を見ましょう」と、何も手を加えないことも多々あるのではないのでしょうか。一度出来上がってしまった歯牙の配列と咬合をもう一度修正し再構築することは、場合によっては限界も出てくるものと考えられます。永久歯列が完成するまでに、いかにして早期に不正咬合を改善して、理想的な永久歯列に育成させてあげるか、が今後の大きな課題となつてきます。今回は、歯列育成のポイントと、当院で行っている2症例を発表させていただきます。患者は7歳3ヶ月女児、9歳6ヶ月男児で、両者とも前歯部逆被蓋、叢生に対し、床矯正装置で対応した症例です。諸先生方のご意見、ご指導を宜しくお願いいたします。